

エコプロダクツ大賞推進協議会設立趣意書

最近、企業等による環境負荷の低減に配慮した製品・サービス(エコプロダクツ)の開発・製品化への取り組みが広がるとともに、すでに社会から一定の評価を受けて市場性を有するエコプロダクツも数多くあらわれている。また、環境配慮型のサービスに関しては、独創性のあるビジネスモデルを開発して市場参入を果たしている企業も多数あり、新たなエコサービスによる環境負荷の低減も現実的なものとなりつつある。

このようなエコプロダクツが、われわれの社会と暮らしの中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけになるわけであり、今後、エコプロダクツがわが国にさらに広く普及していくことが期待されている。しかし一方で、これらのエコプロダクツに対しては、具体的な環境配慮の内容、企業等による情報提供のあり方等についてさまざまな意見がエコプロダクツの供給者である企業等に寄せられており、開発・製品化されたすぐれたエコプロダクツに関するさまざまな情報が需要サイドに正確に伝わる仕組みづくりも求められている。

以上のような状況の中、今後、エコプロダクツをさらに社会に広めていくためには、エコプロダクツの供給者である企業等の取り組みを支援していくことはもちろん、事業者や消費者、投資家、さらには市場関係者からも高い評価を受けるエコプロダクツの開発・普及を一層促進していくことが求められている。

このためには、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性あふれ、しかも社会からの評価が高いすぐれた「エコプロダクツ」に対する表彰制度(エコプロダクツ大賞)を設けて、これらのエコプロダクツを顕彰するとともに社会に知らしめていくことは、エコプロダクツの発展にとって大きな支援策になるものと考えられる。

このような状況に鑑み、エコプロダクツに関わりの深い民間団体等が連携して、すぐれたエコプロダクツに対する表彰制度の実施を通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展に寄与することを目的に「エコプロダクツ大賞推進協議会」を設立するものである。

2004年7月

設立発起団体(順不同)

財団法人 地球・人間環境フォーラム
社団法人 産業環境管理協会
交通エコロジー・モビリティ財団
社団法人 日本有機資源協会